

事業報告書

令和元年度

学校法人ぜんりょう学園

専門学校 北九州自動車大学校

でんき幼稚園

でんき幼稚園小規模保育園

目 次

I.	法人の概要	
	(1) 建学の精神	1
	(2) 学校法人の沿革	1
	(3) 設置学校・学科、施設	5
	(4) 学生数の状況	5
	(5) 役員・評議員の概要	5
	(6) 教職員の概要	6
	(7) その他	6
II.	事業の概要	
	(1) 事業の概要	6
	(2) 施設等の状況	6
III.	財務の概要	
	(1) 貸借対照表の推移	7
	(2) 資金収支計算書の推移	8
	(3) 事業活動収支計算書の推移	9

I. 法人の概要

(1) 建学の精神

「自主独立と新開拓者（ノヴァフロンティア）精神」

建学の精神を総合すれば、積極進取^①、即ち学生諸君にアクティブ^②な進取の精神を期待しているのである。

今日^{こんにち}は、余りに人に依存する、イージーゴーイング^③な傾向が強すぎるようだ。時勢とか、時の流れとかいうものに、あまりにも追従し、流され、自主性というものを失っている。これでは、学問・技術は、自分のものにならない。

将来、立派な社会人になる準備をするのが学生の本分でなければならない。そのためにも、自分で以って研鑽^④し、基礎を固め、人間形成を自力で作らなければならない。幅広い読書もし、多くの人にも接し、体験を豊かにし、人間完成を目指す。私は、自分の学校を、そうした学園に持って行きたいと念じている。

中村全亨著「教育のあじ、仕事のあじ」（昭和 42 年発行）より抜粋

① 進取：自ら進んで事をなすこと。

② アクティブ(active)：自ら進んで行動するさま

③ イージーゴーイング(easygoing)：物事の対処のしかたが安易なさま。

④ 研鑽^{けんざん}：学問などを深く研究すること。

(2) 学校法人の沿革

年 月	内 容
昭和 32 年 4 月	九州電気学校 認可（小倉市到津真鶴町 25 番地）
昭和 33 年 10 月	校舎・校地買収新築（小倉市南下富野 358 番地）
昭和 34 年 4 月	学校法人九州電気学園 設置認可 理事長 中村全亨就任
昭和 34 年 4 月	昼間部電気科初等部 修業年限変更（2 ヶ年） 定員増員（120 名） 機械科自動車整備部、電気科初等短期部 増設（定員各 40 名）
昭和 34 年 10 月	小倉市下富野に運動場用地（1,620 坪）取得 機械科自動車整備部 自動車整備科に変更
昭和 35 年 3 月	第 2 期校舎新築落成（177 坪） 総定員増員（560 名）
昭和 36 年 4 月	九州電気学校 九州電気専門学校に改称
昭和 38 年 2 月	自動車整備実習場新築（140 坪） 昼間部電気科高等部（3 ヶ年制）2 学級増設 遠賀郡海老津岡垣村に校地（10,000 坪）取得

昭和 38 年 8 月	学校法人北九州学園（小倉市若園町 305 番地）を吸収合併 校地（4,863 坪）、校舎（236.5 坪）、2 学級増加
昭和 39 年 4 月	若園校に自動車整備実習場完成（30 坪）
昭和 39 年 10 月	自動車整備士養成施設第一種校指定
	若園校舎第 1 期工事 鉄筋、木造（485 坪）完成
昭和 40 年 2 月	九州電機工業短期大学 設置認可 電気科（入学定員 100 名） 電力工学コース・電子工学コースを開設
昭和 41 年 4 月	九州電機工業短期大学 3 号館完成 20 教室（鉄筋 5 階建）完成
	九州電気専門学校 6 教室（鉄筋 3 階建）完成
	九州電機工業短期大学 女子電化学コースを新設
昭和 42 年 3 月	九州電機工業短期大学附属幼稚園 設置認可（総定員 120 名）
	九州電機専門学校 夜間部 募集停止
	九州電機工業短期大学 第 2 部 設置認可（入学定員 100 名） 電力工学・電子工学の 2 コースを開設
昭和 42 年 6 月	電子計算機室設置 電子計算機 FACOM230-10 導入
昭和 43 年 3 月	九州電機工業短期大学 女子電化学コースを電子計算機コースに改称 （共学化）
昭和 43 年 4 月	九州電気専門学校 定員変更 電気科 150 名、自動車整備科 2 ヶ年制（中卒）80 名、1 ヶ年制（高卒）50 名
昭和 45 年 4 月	九州電機専門学校 北九州自動車整備学校に改称 自動車整備科 2 ヶ年（高卒）入学定員 100 名、電気科廃止
昭和 46 年 4 月	九州電機工業短期大学附属幼稚園 園舎増築（4 教室）（総定員 240 名）
昭和 47 年 4 月	九州電機工業短期大学 電気事業法に基づく電気主任技術者資格校（第二種、第三種）認定
昭和 48 年 4 月	九州電機工業短期大学 九州電機短期大学と改称
	九州電機工業短期大学附属幼稚園 九州電機短期大学附属幼稚園と改称
昭和 48 年 11 月	北九州自動車整備学校 二級自動車整備士国家試験実技免除校に認定
昭和 49 年 4 月	九州電機短期大学 放送技術コースを新設
昭和 51 年 3 月	九州電機短期大学附属幼稚園 リズム教室増築（49.5 m ² ）
昭和 51 年 4 月	専修学校法の制定に伴い、北九州自動車整備学校を北九州自動車整備専門学校と改称。定員 100 名（高卒 2 ヶ年）。工業専門課程二級自動車整備科となる。実習場増築。
昭和 51 年 6 月	北九州自動車整備専門学校、私立専修学校課程認可
昭和 52 年 11 月	九州電気学園 学園創立 20 周年記念式典挙行
昭和 54 年 3 月	九州電機短期大学 コンピュータ FACOM V シリーズを導入
昭和 55 年 2 月	九州電気学園 学生食堂増築
昭和 56 年 4 月	九州電機短期大学 コンピュータ FACOM・M130F 導入

昭和 57 年 9 月	九州電機短期大学附属幼稚園 園舎全面改装（鉄筋 2 階建て 8 教室）
昭和 58 年 4 月	九州電機短期大学附属幼稚園 3 歳児保育開始（募集 40 名）
昭和 58 年 10 月	九州電機短期大学 実験管理棟（鉄筋 3 階建）完成
昭和 59 年 3 月	九州電機短期大学 コンピュータ FACOM・M340R 導入
昭和 59 年 7 月	九州電機短期大学 小倉南区津田新町グラウンド（6,982 m ² ）完成
昭和 61 年 8 月	北九州自動車整備専門学校 実習場増築（371.9 m ² ）
昭和 62 年 4 月	北九州自動車整備専門学校 定員を 150 名に増員
昭和 62 年 11 月	九州電気学園 創立 30 周年記念式典挙行
	九州電機短期大学 台湾・呉鳳工業専科学校と姉妹校提携
	九州電機短期大学 FACOM・M730/20 導入
	30 周年記念館ゼンリョウホール（3 階建 1,875 m ² ）完成
平成元年 4 月	九州電機短期大学 電気科第 2 部 募集停止
平成 2 年 12 月	九州電機短期大学 電気科第 1 部 臨時定員増（入学定員 200 名／総定員 400 名）
平成 4 年 1 月	九州電機短期大学 電気科第 2 部 廃止認可 電気科第 1 部を電気科に改称
平成 5 年 2 月	理事長 中村全亨逝去 中村文彦 理事長就任
平成 5 年 12 月	九州電機短期大学 電気電子科 入学定員 50 名（臨時定員増により 100 名）および情報システム科 入学定員 50 名（臨時定員増により 100 名）設置認可
平成 6 年 4 月	九州電機短期大学 電気科 募集停止
平成 7 年 1 月	北九州自動車整備専門学校 専門士称号付与校となる
平成 8 年 7 月	九州電機短期大学 電気科 廃止認可
平成 11 年 3 月	九州電機短期大学 コンピュータ FACOM GS-8300E/20C 導入
平成 11 年 10 月	九州電機短期大学 入学定員変更 電気電子科 70 名 情報システム科 80 名
平成 13 年 1 月	九州電機短期大学 第二種電気工事士養成施設指定（定員 10 名）
平成 13 年 8 月	北九州自動車整備専門学校 二級二輪自動車整備士 養成開始
平成 13 年 12 月	九州電機短期大学附属幼稚園 収容定員変更（総定員 210 名）
	九州電機短期大学 入学定員変更 電気電子科 50 名 情報システム科 50 名
平成 15 年 4 月	でんき幼稚園 満三歳児 受入開始
平成 15 年 6 月	九州電機短期大学 学科改組転換 テクノプランニング学科 設置認可（入学定員 60 名）
平成 16 年 2 月	北九州自動車整備専門学校 一級自動車整備科（2 ヶ年）設置認可（入学定員 10 名） 一級養成棟鉄筋 2 階建（611 m ² ）完成

平成 16 年 4 月	九州電機短期大学 電気電子科・情報システム科 募集停止
平成 17 年 4 月	北九州自動車整備専門学校 定員変更 175 名
平成 17 年 4 月	九州電機短期大学 電気電子科・情報システム科 廃止届出
平成 18 年 4 月	九州電機短期大学 テクノプランニング学科 募集停止
平成 18 年 9 月	九州電機短期大学附属幼稚園 多目的ホール増築
平成 19 年 4 月	九州電気学園 ぜんりょう学園に名称変更
	北九州自動車整備専門学校 二級自動車整備科二輪自動車整備士コース 開設（入学定員 25 名）
	九州電機短期大学附属幼稚園 でんき幼稚園に園名変更
	北九州電気専門学校（入学定員 40 名） 開校
平成 19 年 11 月	ぜんりょう学園 創立 50 周年記念式典挙行 創始者 中村全亨先生 胸像設置
平成 20 年 4 月	北九州自動車整備専門学校を専門学校 北九州自動車大学校に校名変更 二級自動車整備科二級自動車整備士コース 入学定員変更（150 名）
平成 21 年 2 月	北九州電気専門学校 専門士称号付与公示
平成 21 年 4 月	専門学校 北九州自動車大学校 新実習校舎（1,963.96 m ² ） 完成
	専門学校 北九州自動車大学校 一級自動車整備科 4 年制設置（入学定員 20 名）
	北九州電気専門学校 募集停止
平成 22 年 3 月	北九州電気専門学校 閉校
平成 22 年 4 月	専門学校 北九州自動車大学校 一級自動車整備科 2 年制 募集停止
平成 23 年 12 月	専門学校 北九州自動車大学校 一級自動車整備科 高度専門士称号付与公示
平成 24 年 4 月	専門学校 北九州自動車大学校 入学定員変更 一級自動車整備科（50 名）、二級自動車整備科自動車整備士コース（100 名）
平成 26 年 3 月	専門学校 北九州自動車大学校 一級自動車整備科、二級自動車整備科 職業実践専門課程 認定公示
平成 27 年 4 月	でんき幼稚園小規模保育園 開設（収容定員 19 名） 保育室・調理室（149 m ² ）完成
平成 28 年 2 月	専門学校 北九州自動車大学校 燃料電池自動車 MIRAI（トヨタ）納車
平成 30 年 4 月	でんき幼稚園 施設給付型幼稚園へ移行
令和元年 9 月	専門学校 北九州自動車大学校 大学等における修学支援に関する法律 第 7 条第 2 項各号に掲げる要件 充足確認
令和 2 年 4 月	理事長 中村文彦 退任 中村仁 理事長就任

(3) 設置学校・学科、施設

設置する学校・施設	開校年月	学部・学科	摘要
専門学校 北九州自動車大学校	昭和 51 年 4 月	一級自動車整備科 二級自動車整備科 自動車整備士コース 二輪自動車整備士コース	
でんき幼稚園	昭和 42 年 4 月		
でんき幼稚園小規模保育園	平成 27 年 4 月		

(4) 学生数の状況

(令和元年 5 月 1 日現在) (単位：人)

学校名		入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
専門学校 北九州自動車 大学校	一級自動車整備科	50 名	200 名	73 名	
	二級自動車整備科 自動車整備士コース	100 名	200 名	88 名	
	二級自動車整備科 二輪自動車整備士コース	25 名	50 名	16 名	
でんき幼稚園		若干名	210 名	162 名	
でんき幼稚園小規模保育園		若干名	19 名	13 名	

(5) 役員・評議員の概要

・役員

	定員数	現員数	学内外者の別	氏名	前職又は現職
理事	7 名	7 名	学内者	中村 仁	でんき幼稚園 園長
			学内者	中村 元	ぜんりょう学園 事務局長
			学内者	清末 裕貴	専門学校 北九州自動車大学校 教頭
			学外者	三島 正一	株式会社 役員
			学外者	合馬 紘	病院 院長
			学外者	山下 文義	税理士事務所 税理士
			学外者	添田 時次	学校法人設置学校 主事
監事	2 名	2 名	学外者		

(令和 2 年 4 月 1 日現在)

・評議員

定員数：15 名

現員数：15 名 (学内者 11 名、学外者 4 名)

(6) 教職員の概要

区分		法人本部	専門学校 北九州自動車 大学校	でんき幼稚園	でんき幼稚園 小規模保育園	計
教員	本務	—	15	10	—	25
	兼務	—	3	5	—	8
職員	本務	—	5	2	3	10
	兼務	—	7	1	6	14

(7) その他

- ・系列校の状況等

学校法人九州電機工業学園 希望が丘高等学校

〒809-0033 福岡県中間市土手ノ内3丁目19番1号 TEL.093-962-6673

設置学科：総合学科（教養／総合ビジネス／スポーツ／トータルビューティー／音楽）

自動車科

自動車専攻科

II. 事業の概要

(1) 事業の概要

1. 専門学校 北九州自動車大学校

- ・福岡県施設設備費補助金を活用し、門型リフト3台、工具BOX6台を導入。
- ・実習用車両として、HV車10台、小型FF車6台を購入。
- ・登録試験合格率一級小型92.3%、二級ガソリン92.0%、二級ジーゼル84.5%達成。就職率100%達成。
- ・タイ国バンコクへの海外研修旅行を初実施。バンコクオートサロンへ参加。
- ・学園祭にて「北自大モーターフェス」、「福岡ソフトバンクホークス柳田悠岐選手トークショー」等を開催。開催の様子はTV、新聞等のメディアにも展開。
- ・昨年度受入れを開始した外国人留学生が卒業。複数の卒業生輩出は開校以来初となる。
- ・令和元年9月に大学等における修学支援に関する法律第7条第2項各号に掲げる要件を満たしていることが確認される。
- ・令和元年10月にスナップオン・ツールズとパートナーシップ締結。(全国で2校のみ)

2. でんき幼稚園

- ・令和元年10月より幼児教育無償化が開始。

(2) 施設等の状況

- ・法人 旧理事長室、ゼンリョウホール 雨漏り修繕工事
- ・北九州自動車大学校 実習場ドア、階段手摺、グリストラップ、本館棟1階トイレブース、女子更衣室雨漏りの修繕工事
- ・幼稚園 玄関外灯の改修工事、トイレ床改修、ウォームレット導入。

Ⅲ. 財務の概要

(1) 貸借対照表の推移

(単位：千円)

	平成 29 年度末	平成 30 年度末	本年度末
固定資産	2,004,738 円	1,938,534 円	1,910,303 円
流動資産	1,703,459 円	1,667,814 円	1,648,344 円
資産の部合計	3,708,197 円	3,606,349 円	3,558,648 円
固定負債	76,251 円	81,244 円	46,718 円
流動負債	100,082 円	54,028 円	108,626 円
負債の部合計	176,333 円	135,272 円	155,345 円
基本金	1,758,801 円	1,791,797 円	1,792,507 円
繰越収支差額	1,773,062 円	1,679,278 円	1,610,796 円
純資産の部合計	3,531,863 円	3,471,076 円	3,403,303 円
負債及び純資産の部合計	3,708,197 円	3,606,349 円	3,558,648 円

(2) 資金収支計算書の推移

(単位：千円)

収入の部	平成 29 年度末	平成 30 年度末	本年度末
学生生徒等納付金収入	204,445 円	197,726 円	193,648 円
手数料収入	2,223 円	2,448 円	2,987 円
寄付金収入	0 円	0 円	0 円
補助金収入	78,083 円	98,950 円	114,405 円
資産売却収入	230,000 円	100,000 円	10,538 円
付随事業・収益事業収入	6,224 円	11,428 円	9,895 円
受取利息・配当金収入	8,424 円	7,986 円	9,828 円
雑収入	3,703 円	6,039 円	5,388 円
借入金等収入	0 円	0 円	0 円
前受金収入	49,180 円	38,163 円	35,357 円
その他の収入	1,493 円	5,419 円	4,806 円
資金収入調整勘定	△ 38,851 円	△ 49,500 円	△ 49,855 円
前年度繰越支払資金	1,509,434 円	1,688,320 円	1,655,828 円
収入の部合計	2,054,362 円	2,106,982 円	2,001,829 円

(単位：千円)

支出の部	平成 29 年度末	平成 30 年度末	本年度末
人件費支出	275,031 円	214,170 円	275,664 円
教育研究経費支出	48,663 円	47,263 円	44,618 円
管理経費支出	56,716 円	63,717 円	66,346 円
借入金等利息支出	0 円	0 円	0 円
借入金等返済支出	0 円	0 円	0 円
施設関係支出	1,941 円	38,880 円	0 円
設備関係支出	5,844 円	4,097 円	7,609 円
資産運用支出	0 円	40,000 円	30,000 円
その他の支出	33,401 円	59,199 円	18,900 円
資金支出調整勘定	△ 55,557 円	△ 16,175 円	△ 77,796 円
翌年度繰越支払資金	1,688,320 円	1,655,828 円	1,636,488 円
支出の部合計	2,054,362 円	2,106,982 円	2,001,829 円

(3) 事業活動収支計算書の推移

(単位：千円)

			平成 28 年度末	平成 29 年度末	本年度末
教育活動収支	収入の活動	学生生徒等納付金	204,445 円	197,726 円	193,648 円
		手数料	2,223 円	2,448 円	2,987 円
		寄付金	0 円	0 円	0 円
		経常費等補助金	77,678 円	97,500 円	113,371 円
		付随事業収入	9,482 円	10,420 円	9,407 円
		雑収入	3,703 円	6,039 円	5,388 円
		教育活動収入計	297,532 円	314,134 円	324,804 円
	支出の活動	人件費	231,626 円	219,163 円	241,138 円
		教育研究経費	88,514 円	86,768 円	81,804 円
		管理経費	71,536 円	78,268 円	80,240 円
		徴収不能額等	0 円	0 円	415 円
教育活動支出計		391,676 円	384,200 円	403,598 円	
教育活動収支差額		△ 94,144 円	△ 70,065 円	△ 78,794 円	
教育活動外収支	収入の活動	受取利息・配当金	8,424 円	7,986 円	9,828 円
		その他の教育活動外収入	0 円	0 円	0 円
		教育活動外収入計	8,424 円	7,986 円	9,828 円
	支出の活動	借入金等利息	0 円	0 円	0 円
		その他の教育活動外支出	0 円	0 円	0 円
		教育活動外支出	0 円	0 円	0 円
	教育活動外収支差額		8,424 円	7,986 円	9,828 円
経常収支差額		△ 85,719 円	△ 62,079 円	△ 68,966 円	
特別収支	収入の活動	資産売却差額	20 円	0 円	538 円
		その他の特別収入	1,693 円	1,450 円	1,034 円
		特別収入計	1,713 円	1,450 円	1,572 円
	支出の活動	資産処分差額	2,316 円	157 円	2 円
		その他の特別支出	0 円	0 円	380 円
		特別支出計	2,316 円	157 円	380 円
	特別収支差額		△ 603 円	1,292 円	1,192 円
基本金組入前当年度収支差額		△ 86,322 円	△ 60,787 円	△ 67,773 円	
基本金組入額合計		△ 1,687 円	△ 32,996 円	△ 709 円	
当年度収支差額		△ 88,010 円	△ 93,783 円	△ 68,482 円	
前年度繰越収支差額		1,845,072 円	1,773,062 円	1,679,278 円	
基本金取崩額		16,000 円	0 円	円	
翌年度繰越収支差額		1,773,062 円	1,679,278 円	1,610,796 円	

